

科目名 (Eng)	人文・社会科学概論B (Invitation to Humanities and Social Science B)								
担当教員	木原 淳								
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	一般科目 (コミ科)	2	後期	必修	1	30	一般	B	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1). JABEE基準1 (1)との対応：(a)								
授業の概要と方針	高校課程「政治・経済」の、政治及び憲法に関わる部分をおこなう。								
到達目標	現代日本社会を支える政治と国際社会に関わる基本的な知識を習得する。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習		
前期	1	政治とは何か	人間と政治、支配の正当性分類				指定された箇所をあらかじめ読んでおくこと。		
	2	代表民主制	民主制、法治主義、法の支配						
	3	各国の政治制度	政体の分類、議院内閣制						
	4	日本国憲法体制の成立	国民主権と象徴天皇制						
	5	人権の保障	人権の分類、新しい人権						
	6	統治機構	国会、内閣、裁判所の権限						
	7	現代日本の政治(1)	メディアの影響力と大衆民主制						
	8	現代日本の政治(2)	選挙制度						
	9	現代日本の政治(3)	戦後日本の政党政治						
	10	国際社会の成立と国際法	戦争観の推移、主権国家と国際法						
	11	国際組織の成立としくみ	国際連盟の成立と崩壊、国際連合						
	12	冷戦期までの国際政治	二つの世界大戦、東西対立						
	13	日本の安全保障	自衛隊と日米安全保障条約体制						
	14	冷戦後の国際政治	冷戦構造の崩壊、9.11テロ後の世界						
	15	まとめ	現代政治を見る眼						
試験について	中間試験は実施しない。期末試験(50分)は実施する。								
評価方法	定期試験70%、レポートおよび課題30%で評価する。								
教科書	配布プリント、『資料政治経済』(清水書院)								
参考書									
関連科目	法学概論、経済学概論								
履修上の注意	授業は配布プリントを中心に進めるので、必ずファイルすること。また課題・レポートは期限・様式などを厳守すること。								